

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

文献

西澤芳男, 西澤恭子, 後藤広恵. 麻酔科領域の視点から 難治性・慢性内科疾患の慢性疼痛. *慢性疼痛* 2002; 21: 67-77. 医中誌 Web ID: 2003126703 [MOL](#), [MOL-Lib](#)

1. 目的

柴朴湯吸入によるアスピリン喘息患者の QOL 改善効果

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

病院 1 施設、診療所 2 施設

4. 参加者

アスピリン喘息患者 214 名

5. 介入

検討期間は 3 年間、柴朴湯吸入は DSCG (Sodium cromoglycate) 用カプセルに柴朴湯 500 μ g を充填したものをスピンヘラーで吸入。

Arm 1: 柴朴湯 (メーカー不明) 2.0g 4x 吸入 105 名

Arm 2: DSCG 80mg 4x 吸入 109 名

6. 主なアウトカム評価項目

自覚症状、多種の検査、慢性疼痛、QOL は筆者らの開発した Total-disease related symptoms, visual や analog scale, face rating score で判定した。

7. 主な結果

柴朴湯吸入により、各種アウトカム項目が改善した。

8. 結論

アスピリン喘息発作の QOL が改善する。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

副作用発現率は柴朴湯群が多かったが、出現症例数は両群で有意差はなかった (結果省略)。

11. Abstractor のコメント

この著者の柴朴湯吸入療法に関する RCT 論文「西澤芳男, 西澤恭子, 吉岡二三, ほか. 柴朴湯吸入の抗アスピリン喘息効果. *耳鼻咽喉科展望* 2001; 44: 5-13.」、「西澤芳男, 西澤恭子, 吉岡二三, ほか. 柴朴湯によるアスピリン喘息軽減による心的苦痛改善効果. *痛みと漢方* 2001; 11: 14-21.」と似ているが、違いは柴朴湯を蒸留水に溶解したもの、生理食塩水に溶解したものと今回の粉末をスピンヘラーで吸入するものである。今回の粉末吸入は利便性が高く QOL 改善に寄与するものと思われる。これら 3 論文に共通しているのは、論文構成が怪奇で、説明不十分な概念、結果の省略等が多く、内容を理解するのは困難である。

12. Abstractor and date

藤澤 道夫 2009.2.22, 2010.6.1